

## シャープが資本財務再構築プランを策定－信用力は高まる公算

以下は、シャープ株式会社（証券コード：6753）の資本財務再構築プラン策定についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は昨日、普通株式の発行と A 種種類株式の取得を軸とする「資本財務再構築プラン」を公表した。普通株式の発行手取金を原資に、みずほ銀行と三菱 UFJ 銀行に割り当てた A 種種類株式の全てを 1,850 億円で自己株式として取得する予定。A 種種類株式は取得後速やかに消却する方針である。昨日付で 2,000 億円を上限とする新株式発行に係る発行登録を提出。発行登録の効力発生予定日である 18 年 6 月 13 日から 19 年 6 月 12 日までの間に増資と A 種種類株式の取得を予定する。なお、A 種種類株式には金銭を対価とする取得請求権が存在しており、金銭償還による負担の可能性が元々想定されていた。
- (2) 当社の業績は、EMS 世界最大手である台湾の鴻海精密工業（鴻海）の傘下に入って以降、力強い回復を示している。一方、資本の質を勘案した財務基盤の脆弱さが格付の制約要因の一つになっていた。このため、本件が実現すると資本の質的向上につながるなど、信用力評価に際してポジティブな要因となり得る。もっとも、本件増資に加え、別途想定されている C 種種類株式の普通株式への転換が一部実現すると、希薄化による鴻海グループの持分低下が見込まれている。JCR は、これらの帰趨とともに、当社と鴻海との関係に変化が生じないかフォローしていく。

（担当）千種 裕之・関口 博昭

### 【参考】

発行体：シャープ株式会社

長期発行体格付：BB

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル